

教材教具名 ぞうくんのさんぽ 大型積み木・机上用積み木	教科(国語)	
--------------------------------	--------	--

教材教具写真



大型積み木



机上用積み木

教材教具の概略(ねらいと使い方)

- 1 ねらい
  - ・自分の好きな場面やストーリーの展開を期待しながら楽しんで物語を見聞きする力を育てる。
  - ・劇遊びをするなかで、場面に合わせた表現を引き出す。

2 発達段階 期：模倣・指さしを獲得する時期

3 使い方

絵本を見聞きすることが難しい児童でも楽しめるよう、登場人物を大型積み木にして読み聞かせを行う。場面の展開が動きとして現れるので分かりやすいのではないかと考えた。

読み聞かせの後には児童一人ひとりが登場人物になり、積み木を積み重ねる。(児童人数に合わせて、かえるとありを加えた。)

積み木を積み重ねる際には、「のせて」と「いいよ」のやりとりを行うようにした。

期(笑顔で交流が育つ時期)～期の児童には...

各登場人物の登場を期待できるよう、太鼓等で足音を作成して登場に合わせて使用した。

積み木(ぞうくん等)に意識を向けられるよう、大型積み木の中にはそれぞれ鈴が入れている。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

絵本や紙芝居を見聞きすることが難しい児童も、この大型積み木を使っての物語は興味を向けて見聞きすることができた。児童の中には最後の展開を期待して楽しむことができたようになった児童もいた。

“積み木を運ぶ”、“のせる”ということは分かってできたが、のせる前に言葉や動作サインでやりとりをすることは難しかった。

場面に合わせた表現を引き出すためには、物を介さずにやりとりできるような教材の方が適していた。